



夢の実現に向けモチベーション

先日までW杯男子バスケットボール大会が沖縄県等で開催されてました。日本は本大会を19位で終えながらも、48年ぶりに自力で来年開催のオリンピックへの出場権を獲得しました。大会前のFIBAによる世界ランキングでは日本は36位（2月段階）で、決して強豪国とは言えませんが、この結果をもたらした要因の一つに、モチベーションがあるように思います。

そして、そのモチベーションの向上に多大なる貢献をしたのが、トム・ホーバスHCの存在があると感じているのは、私だけではないはずです。

試合中のベンチでは「頭を使っているの!」「何やってるんですか!」等激しい言葉がとんでいました。見方、聞き方によっては、強い叱責、もしくはパワハラのように感じる人もいるかも知れませんが、その言葉で選手が奮い立ったり、やる気を起こしたりしているように感じました。当然信頼関係があってからこそ成立していると思いますが…

今の日本の流れ、他のスポーツや会社等ではなかなか見られない光景ですので、新鮮にまたは懐かしく感じたのは私だけでしょうか？

私も10年前までは部活動の監督をしていました。中学の陸上競技の最大の敵はメンタルと考えていた私は、その過程（練習）では、絶えず大きな声を出し、選手を奮い立たせようとしたものです。それは、選手が当日（大会）に安心して競技に望めたり、自信をもってスタートラインに立てるようにしたい思いからでした。よい選手にも恵まれたこともあり、数回十勝大会でも勝たせてもらえましたし、幾度も全国大会にも連れて行ってもらいました。だからこそ、ホーバスHCのモチベーションを上げようとする姿が印象に残ったのかも知れません。

しかしながら現在は、たとえ期待や成長させるためであっても、命にかかわること等以外ではなかなか大きな声を出したり、厳しい言葉での指導をしたりするのは教員はしにくくなりました。それは、家庭でも同様なことが言えるかも知れません。（私は、先日小学3年生の娘を怒鳴りました。一軒家ではあるものの、窓を開けていたせいか、二件隣の家から『何かあった?』との連絡がありました。当然、娘がやってはならないことをしたので、親としてそれをわかってもらうための行動でしたが…近所はこう思うのですね。連絡をくれるだけありがたいのかも…）

したがって、指導者や保護者は他の方法を探して伝えたり、または、自分でモチベーションを上げる方法を見付けたりしなければならなくなったように感じます。

では、自分でモチベーションは高めるにはどうしたらよいのか？さまざまな方法があると思いますが、その一つに「行動」があります。例えば、ダイエットしようとした時に「5kg痩せる（＝目標）」よりも「毎日走る、学校に歩いて登校する（＝行動）」など、結果を目標にするのではなく、行動が続けば目標に近づく。として動くことに視点を置けば、自分がやる事が明確になり、次第に目標達成に近づくように思います。そして、行動による変化を感じれば、自ずとモチベーションも高まってくると思います。

やっぱり、やる気、意欲を喚起するため、自己肯定感を高めたり、ポジティブな思考をしたりするため、少しモチベーションを高めることを考えてみて、そして行動してみませんか。

～東中の教育～ 人生の生きる“種まき”をし、“ひとりだち”をさせるための土台を築く

- 目指す学校像 「教師も子どもも学び続ける学校」
- 目指す生徒像 「夢の実現に向け、表情豊かで主体的に考動する生徒」
- 目指す教師像 「元気に丁寧に情熱をもち、子どものよさを伸ばす教師」

少人数指導～「わからない」を「わかる」ように～

数学の授業では少人数指導に取り組んでいます。生徒個人の学習状況に応じてクラス編成をおこない、それぞれが自分の進度と内容で学習を進めることにより、わかることやできることの喜びを実感させることがねらいです。今後は、ICT等を有効活用し、生徒自らが課題を発見・追求し、学びの振り返りから、課題解決や個々のよさを伸ばすことを目標としています。



後期生徒会役員選挙 立会演説会

9月8日（金）後期生徒会役員選挙の立会演説会がおこなわれました。立候補者数が定員数のため選挙はありませんでしたが、立候補者からは各委員会との連携強化、札内東学園の交流、挨拶運動の活性化やいじめ撲滅に向けての活動、イベントの実施など、全校生徒が安心して過ごせる学校づくりがしたいという思いを強く感じました。よりよい学校づくりのためには、代表だけではなく、みなさん一人ひとりの『考動』を大切にしてください。



札内東学園特別支援交流学習会

8月30日（水）白人小学校で交流学習会がありました。自己紹介の後、じゃんけん列車や玉入れをおこない、小学生との交流を深めました。最初は緊張した様子でしたが、最後は笑顔や笑い声が溢れる時間となりました。



目指す生徒像「夢の実現に向け、表情豊かで主体的に考動する生徒」

校内意見発表大会・英語暗唱大会

○校内意見発表大会

【最優秀賞】 3年 谷 快周（学校代表）

【優秀賞】 1年 波戸内陽奈（学校代表）

3年 松本 美優

【優良賞】

1年 遠藤 一匠、高瀬結希奈、伊藤ひまり、広田 日和
中野 綾音

2年 柴田 歩香、松村 美里、小川 伊織、

3年 広田 航貴、安江こころ

○英語暗唱大会学校代表者

2年 坂本 歩睦 片山 巧

3年 高橋 緋菜 和田 幸紗

町意見発表・英語暗唱大会の学校代表者は10月4日（水）
に百年記念ホールで行われます。



教育実習生離任式

2学期から、3名の教育実習生が着任し、3週間の実習期間を終えました。それぞれの先生方の「よいところ」を発見できたでしょうか？今年度は4名の実習生を迎えましたが、その姿からも、たくさんの学びがあったことと思います。元気、一生懸命、そして何より自己責任のもと、行動している姿がとても素晴らしかったです。7～9年後の目標にしてください。



10月行事予定

日	曜	行事予定
1	日	
2	月	安全点検の日
3	火	
4	水	町内英語・意見発表大会 モップ交換 分掌・学年会議
5	木	生徒会活動の日
6	金	学校経営法制研 通知表配付 英検
7	土	インドア1次予選テニス U15道東バスケ
8	日	U15道東バスケ
9	月	スポーツの日
10	火	教育相談①
11	水	職員会議
12	木	3年学力テスト 教育相談②
13	金	教育相談③ 2年生マナー講座
14	土	1年王座テニス
15	日	
16	月	交通安全確認の日 教育相談④ 後期役員認証式・生徒総会
17	火	十勝子ども大会英暗 教育相談⑤
18	水	教育相談⑥ 校内研修（事後研修）
19	木	まくべつ教育の日 教育相談⑦ シェイクアウト訓練
20	金	教育相談⑧
21	土	全十勝秋季バレー 定演リハ 道P連研究札幌大会
22	日	全十勝秋季バレー、卓球、バスケ 吹奏楽部定期演奏会 テニス審判講習会
23	月	2年生アイヌ文化出前講座
24	火	
25	水	後期中間テスト（3年）
26	木	第3回学校運営協議会 方面中体連代表者会議
27	金	職場体験学習（2年） 3年生健康講話
28	土	全十勝秋季卓球・バスケ
29	日	全十勝秋季バスケ
30	月	生徒指導交流会 2年生健康講話
31	火	1年生健康講話

○東部・東北部方面秋季中体連大会

・テニス 団体戦準優勝

対 札内 1-2● 対 幕別 2-1○

個人戦ベスト8 三好・伊藤、渡邊・吉岡、西垣・林

・バレー 対 足寄本別 2-0○ 対 札内 2-0○

対 忠類・豊頃 2-0○ 優勝

・バドミントン 坂田 1回戦敗退

・バスケ 対 札内 64-65●

対 豊頃 52-51○ 準優勝

○全十勝秋季中体連大会

・野球 1回戦 対 帯七・清川・川西 5-4○

2回戦 対 共栄中 2-9●

5位決定戦 対 足寄・本別・勇足 3-0○

対 音更緑南 4-3 ○ 第5位

・テニス 団体戦 対 中札内中 1-2●

・ソフトボール1回戦 対 緑南・下音 4-8●

3位決定戦 対 豊頃 11-5○ 第3位

・剣道 男子個人戦 大方 1回戦敗退

○吹奏楽部 北海道吹奏楽コンクール

中学生C編成の部 銀賞

○バスケットU15大会

・バスケ男子U15 対 音更中 30-61●

・バスケ女子U15 対 帯一中 28-57●

○北海道卓球選手権大会カデットの部

・卓球 個人 加藤朝陽 4回戦敗退

ダブルス 野澤・加藤 1回戦敗退

○道東地区選抜野球弟子屈大会

1回戦 対 標茶・鶴井・弟子屈・虹別 不戦勝○

準決勝 対 遠軽 3-5● 第3位